やすらぎ

編集・発行
〒540-0011　大阪市中央区農人橋 1-4-20
南大江会館（老人いこいの家）
南大江地域活動協議会
南大江地域ネットワーク委員会
責任者　伊　藤　弘一郎
題字　中央区長　柏 木 陸 照

南大江地域活動協議会 だより　第38号　2013.10.1

「南大江地区自主防災訓練」開催！

南大江地域活動協議会
会長　伊　藤　弘一郎

平成25年9月7日㈯午前10時地震発生！（仮想定の訓練開始）急遽災害対策委員が南大江小学校に集結。黒田対策副本部長が避難所の開錠。直ちに対策本部開設。避難所の受付体制が整う。避難者が続々と到着。安否確認の受付が始まる。一気に混乱状態だが、初めての経験にしてはスムーズにはかどっている。一方対策本部は直ぐに開設され、すでに機能をしている。刻々と入ってくる情報を整理して対策の指示を開始。区本部から防災無線にて震度7と発表。各地域の被害状況が伝わる。地域内より負傷者の救出要請があり、直ちに避難誘導班が現場に向かう。訓練とは言え緊迫した空気が漂う。負傷者を救出して救護所に運び込む。直ちに救護部による応急処置が始まる。少し時間をおいて、救護部より本部に至急救急車の要請が伝わる。防災無線にて区本部に救急車の手配をする。その頃対策本部では本部長と副本部長を囲んで、情報を分析して対策を検討。直ちに各部署に指示を出す。

続々と避難者が講堂に集結。３００名を超える満杯状態との報告が伝わる。

一方、校庭では午前10時05分より食糧部と物資部の協力により、講堂４階の備蓄倉庫より炊き出し用のアルファ化米と災害用水を準備。既に炊き出しを開始している。

対策本部が忙しく機能している時間に、講堂にお集まりの皆様（避難者）には防災講演を聞いて頂き、その後に各班に分かれて、校庭での消防署の皆様によるご指導にて初期消火の訓練、簡単な救出指導を受けます。そして、参加者の皆様には煙の中の歩行体験もして頂きました。最後に南大江地域防災リーダーによる可搬式ポンプの消火訓練を見学して頂き、何時もの手慣れた訓練振りに、見学者より「お見事！」と拍手を頂戴し、本日の訓練も参加して下さった皆様のお蔭を持ちまして、何事も無く終了。

最後に、中央消防署長さまより「本日の訓練の講評」を頂き、続いて中央区長さまより「南大江地域の日頃からの地域活動（安心・安全な町づくり）（胸を張って自慢出来る故郷づくり）を合言葉に、その団結力と本日の素晴らしい訓練に敬意をもって感謝いたします」とのご挨拶を頂きました。

「そのときのために備えて！」第一回南大江地域自主防災訓練を実施いたしましたところ、南大江地域にお住まいの皆様方にはご多忙にも拘らず、また連日の猛暑の中約５００名を超える多数の参加者を得ての訓練が出来ましたことに心より感謝を申し上げます。

本年度の訓練につきましては、地域全体における初の体験の為に本部役員の人員数及びその他準備不足の為に南大江小学校に避難所の開設と、本部設置、そして機能の実践・避難者の安否確認に重点を致しました。尚、聴覚特別支援学校にお集まりの皆様方には、今年は避難者の安否確認のみの訓練にもかかわらず多数のご参加を頂きました。次回には、この経験を活かして避難所の開設と本部を聴覚特別支援学校に設置して実施致したく考えておりますので、その節にはよろしくお願い致します。

この度の体験から、近日中には、是非「反省会」を一度開催して、皆様方からのお知恵を拝借して、今後、私達が目指す「地域の安心・安全な町づくり南大江自主防災」に活かしてゆきたく思いますので、是非ご参加・ご協力くださいますようにお願い申し上げます。

～出来事～

第17回 南大江 和楽の会　日時:2013年8月30日㈮　場所:国民会館

南大江地域の方々と関係各所の方大勢のご参加頂き盛大に開催されました。

☆南大江女性学習会☆　中村幸枝

南大江女性会講座「ボランティアを通して見た、ミャンマーの現状～現地での民主化の動き～」は、恵美奈博光氏が民族衣装のロンジーをはいて、情熱的に講義して下さいました。女性会の枠を超えて地域にもご案内したために会館は満員となり、男性のご参加もたくさん頂きました。

「おーい、水島、一緒に日本に帰ろう」と「ビルマの竪琴」の名文から始まりました。ミャンマーでは血縁関係が強く、僧や教師は尊敬されているとのこと。家は竹製がほとんどで、火事を心配し外食が多く、通貨は紙幣のみというのにはびっくりしました。物価はすでに30%もUP。人々は穏やか、勤勉で、人と人との垣根が低く親しみやすいそうです。

そして135以上の多民族国家のこれからの利権争いや賄賂はどう断たれて行くのか。次の選挙までにスーチーさんのブレーンは育つのだろうか等の関心事とともに、ミャンマーがとても近い国になりました。

恵美奈 博光 氏

～お知らせ～

南大江地域文化祭
第8回　たんぽぽの会

日時:平成25年12月1日（日） 午前9時30分より

場所:大阪市立南大江小学校

南大江地域にお住まいの皆様から作品出展及び
舞台出演参加者を募集しております　※締切日11月20日（水）

申込は各振興町会長様又は南大江会館内たんぽぽの会事務局まで（TEL6942−1678）

南大江もちつき大会

日時:12月22日（日）
午前10時より

場所:大阪市立南大江小学校

南大江会館（老人憩の家）内装工事について　南大江会館運営委員会一同

南大江会館は、皆さんご存知のように南大江地域の集会所として、いろいろな行事、（ご葬儀等も含む）各種の教室、また老齢者のための憩の場として、ふれあい食事会、ふれあい喫茶（カラオケ）等で有意義に活用されています。

ところで会館も築後約20年を経過しており、あちこちと老朽化が進んでおります。そこで既に2階の畳とふすまは新調を済ませていただきました。

あと1階の床、壁、天井、建具周り、カーテン等の補修並びに新調が必要となっております。また2階のトイレですが1階と同様に和式から洋式にやり替え、また一部壁の補修等、その他若干のオプション工事も含めまして、すでに2社に見積りを提出していただきました。

これより運営委員会でよく検討をいたしまして、予算面も充分にすり合わせを行い、問題のないよう施工工事を進めてまいりますので、皆さんのご理解とご協力のほどここにお願い申し上げる次第です。

編集後記
9月7日㈯に南大江地域自主防災訓練が行われました。実際に訓練する事により、いろいろな良かった点や悪かった点を確認しました。
12月1日㈰には第8回たんぽぽの会が開催されます。　（T. K）

南大江地域自主防災訓練

日時：2013年9月7日㈯
場所：南大江小学校

避難所開設

受付開設

被災者誘導

本部にて指示
本部長・副本部長

情報班
防災無線による情報収集

総務班
被害状況把握

食糧部
非常食の炊き出し

避難誘導班
要援護者の避難対策

救護部
負傷者の救護

消火器体験

煙体験

可搬式ポンプ消火訓練

◇防災訓練参加者の声◇

副本部長　窪堀元雄

私は本部役員で９時３０分に聴覚特別支援学校避難所の開設設置の方に参りました。
10 時には東地区方面の町会員（七町会）が予想より多く沢山の参加者（避難者）で安否確認をして、受付は混雑致しました。避難者には災害用水、乾パンを約２００名に配布して、その後運動場に集合して柏木中央区長より講評を頂き聴覚特別支援学校の方は解散致しましたが、皆様のご協力により思ったよりスムーズに事が運びました。

総務班　石井惠子

総務班は、南大江連合全体の被害状況の把握と、救援要請への対応で、各班への司令塔の役目です。各班から送られてくる情報を元に、的確に判断し、「情報整理カード」に記入して、各班に指示を出すと云う大切な仕事です。例えば、負傷者救護の要請があると、救護部へカードを廻し、それを掲示板に記入します。その場その場の要請に応じての判断が必要不可欠で、本番さながらの訓練に、緊張感を持って行動しました。
初めての防災訓練でしたが、人数不足を痛感し、実際に震災が起きた時の為に、この様な訓練は、必ず必要であると云う事を実感いたしました。

総務班　村上依子

南大江防災訓練の日に、予想外に多くの人が、集合場所である広小路公園に集まった。
各町会の旗を目印に集まるのだが、中には自分の所属町会名が分からず、住所を言って集まる所を尋ねる人が数人おられたのが以外だった。各町会で安否確認の上、町会旗を先頭に聴覚特別支援学校に行き、受付表に記入、乾パンと水の缶詰をもらい、校庭に集まり、柏木区長、窪堀副本部長の話を聞き解散となった。
訓練が終わって感じたことは、自分の所属町会名を知らない人がいることだった。集まって来た人達が町旗をたやすく識別できるような旗の立て方の工夫、公園の中での各町会ごとの集まる場所を、あらかじめ決めて置いた方がよいのではと思った。
それにしても、皆様の防災意識の高いのも東日本大震災のショックの大きさかと改めて感じた。この意識は忘れずに持ち続けたいものだと思った。

情報班　菊谷榮一

９月７日９時すぎ、防災服を着ていざ出陣。本日は地域自主防災訓練の日。南大江小学校多目的室に本部を設置。私は情報班で無線機を渡され模擬被害状況が入ってくるも、聞き取りの悪い事、悪い事。同じ情報班に伝えるも、こまぎれ情報ばかり。無線機はいいのに替えてよね！。それが終わると校庭に出て数百人が見守る中、消防署の方より可搬式消火ホースを渡され放出。これが気持ちいい事この上ない。まあ初めての訓練、無事に終わり「よかった、よかった」。
しかし訓練はしておいて、本番のない事を祈るばかりです。

避難誘導班　城　博宣

避難誘導班として今回の主な作業は要援護者の車椅子での搬送でした。
初めての体験で思ったことは、階段などの障害物があれば少なくとも２人、できれば３人必要だと気付きました。
またもう一つ、総務班からの救援要請を“知っている場所だから”と地図などで確認をしないで出発したため時間をロスしてしまい「情報整理カード」をしっかりと確認しなければいけないことを痛感しました。

受付　堀井由里子

今回は、上町断層帯を震源とする震度７の地震を想定し、南大江地域の収容避難所開設と運営として本格的な防災訓練となりました。受付は、総務より２名、ＰＴＡより４名。自前の打合せを行わないのも訓練のうちということで、たいへん不安でしたが、すぐに机の上に書類を小分けし、えんぴつを置き、すばやく連携プレーをとる事が出来ました。各所帯ごとに記入の後、収容所となる講堂へ誘導し各町会別の人数把握等をしました。役所の係の方から「完璧です」と言われました。たいへん貴重な経験でした。

救護部　中村幸枝

応急救護所は保健室が当てられました。まず保健師さんに毛布で担架の作り方、救急箱の点検、三角巾・包帯の使い方、止血方法などのご指導を頂きました。
訓練が始まり足を骨折した男性が運び込まれました。早速ダンボールで補助板を作り応急手当。次の負傷者は頭から多量出血。重症と判断し多目的室の本部まで走り、「救急車派遣」を依頼。訓練を重ねる必要性を強く感じました。

食糧部　竹中タマ子

防災訓練の担当は、食糧部として１２名でした。大きな「ズンドウ鍋」にお湯を沸かし、「かやくご飯」を作りました。小さなプラスチック容器に分けて 400 食作り、お水の缶とビニール袋に入れ、参加者お一人お一人に配りました。小さな成果かも知れませんが、お湯を入れる分量を間違いのないように、気をつける事と、お米を半分入れ途中で「かやく」を入れると良いのではないかと感じました。
防災訓練は一人でも多くの人が参加し実技を学ぶ事が大切です。

物資部　日置美樹

今回、簡易トイレを４階から台車を使って運び、組み立てる担当でした。後期高齢者の方にとってこの作業はたいへんでした。訓練時には、普段使っているエレベーターが使えず困りました。簡易トイレを組み立てるのに石で打ちつけるのが大変苦労しました。一緒に金鎚を用意した方が良いと思いました。
備えあれば憂いなしですね。

本年 南大江地域では「命のカプセル」「安心安全カード」の普及に取り組みました

町会に加入されている方々に「命のカプセル」約 2,600 本／「安心安全カード」約 7,800 枚 配布致しました

～命のカプセル～

命のカプセルは、医療情報を記入したカードをカプセルに入れ冷蔵庫に保管することによって、救急隊員が駆けつけた際、病状を説明できない場合に迅速な救急活動に活用します。

～安心安全カード～

南大江地域のお住まいの**町会員**の皆様に安心安全カードをお配りしております。
もしもの時に持っていて安心。
お問い合わせはお住まいの各町会長様まで